

大阪糖尿病協会顧問医会のあゆみ

- 昭和 32 年暮 日本糖尿病学会設立
- 昭和 36 年 9 月 日本糖尿病協会設立
- 昭和 36 年 6 月 大阪糖尿病協会設立
- 大阪大学医学部、大阪市大医学部、堺市民病院、大阪赤十字病院を中心とした数病院の医師とレイマンが団結し患者組織（協会）づくりを始め、大阪糖尿病協会を設立その名称を「あけぼの会」と決定し、事務局を大阪大学に設置した。相前後して、日本糖尿病学会の提唱により東京、京都、大阪、広島、福岡などの医師・レイマン有志の努力により 9 月に日本糖尿病協会が発足した。
- 昭和 36～43 年 府下各地に病院単位の患者会が次々と結成され大阪糖尿病協会に入会し、顧問医としての活動が精力的に開始された。
- 昭和 38 年より毎年 11 月の糖尿病週間に、大阪糖尿病協会総会が顧問医役員持ち回りで開催されるようになった。
- 昭和 43 年 大阪糖尿病協会事務局を国立大阪病院に移転
- 昭和 44 年 会報「あけぼの会」を「あけぼの」に名称変更し第 2 号発行となる。
- 昭和 45 年 会報「あけぼの」を年 3 回発行。
- 昭和 46 年 会報「あけぼの」を「大阪糖尿病協会会報」に名称変更し年 3 回発行となる。
- 昭和 47 年 近畿つばみの会の結成、第 1 回近畿小児糖尿病サマーキャンプを琵琶湖畔マイアミビーチにて開催、近畿ヤングの会（つばみの会 OB）の育成を始めると多くの事業が開始された
- 昭和 48 年 顧問医、役員会が組織化され新年懇親会、定例役員会が開催される
阪神百貨店や総会での栄養展示、栄養相談の開催（年 1 回）
糖尿病教育指導者セミナーを年 1～2 回開催
大糖協会報発行（年 3 回、3000 部、分担編集）
- 昭和 53 年 近畿若年糖尿病者の集い ヤングの会結成
- 昭和 55 年 「大阪糖尿病協会会報」年 4 回の発行となる
- 昭和 56 年 大阪糖尿病協会創立二十周年記念式典開催
第 2 回小児若年糖尿病全国ジャンボリーを泉佐野市にて開催
インスリンの自己注射が健康保険適用
- 昭和 57 年 第 2 回ヤング DM トップセミナー開催（阪大病院にて）
第 1 回大阪糖尿病患者指導者セミナー開催（現在の ODES）
- 昭和 61 年 大阪糖尿病協会創立二十五周年記念式典開催
大阪糖尿病協会創立二十五周年記念誌（第 1 号～第 60 号）発行
（29 支部、会員数約 2000 名）

昭和 62 年	大阪糖尿病協会事務局を大阪厚生年金病院に移転
昭和 63 年	顧問医の実行部隊として若手会を結成し第 1 回顧問医若手会開催
平成 3 年	第 7 回全国ジャンボリー大会を大阪にて開催
平成 4 年	第 1 回 DM エducator 勉強会開催 (第 4 8 回まで開催平成 2 0 年 3 月終了)
平成 5 年	第 1 回大阪 DM ウォークラリー開催 ヤング公開スクール'93 開催
平成 8 年	糖尿病の運動療法 (ビデオ版) 作成
平成 10 年	大阪糖尿病協会会則全面改正により新体制の大阪糖尿病協会がスタート (83 支部、会員数約 3500 名)、これに伴い顧問医会と若手会 (実行委員会) を大同団結し新しい顧問医会をスタート、これまでの事業に加えて、各種事 業を展開。 第 1 回大阪糖尿病協会顧問医会総会 第 1 回ヤング DM クラブ (現在の DMVOX) 開催
平成 11 年	第 1 回大阪糖尿病協会運営総会開催 第 1 回 (通算第 37 回) 大阪糖尿病協会会員総大会開催
平成 13 年	第 1 回大阪糖尿病患者教育担当者研修会 (ODES)
平成 14 年	大阪糖尿病協会創立四十周年記念誌 (第 61 号 ~ 第 120 号) 発行 第 1 回 DM・Educator 勉強会 ~ 夢舞台 Meeting ~ 開催 (第 5 回まで開催)
平成 19 年	第 1 回糖尿病療養看護セミナー開催 (淡路夢舞台)